

2025年度 医師処遇改善及び負担軽減計画

	目標	計画	評価
タスクシフティングの推進	看護師と業務分担をする	特定行為研修を受講する看護師の推進と活用。	今年度の研修修了者は2名（手術室）、特定看護師7名うち2名が手順書に基づき特定行為を行っている。
	薬剤師と業務分担をする	PBPMプロトコルの取り扱い薬剤を増やす。	抗MRSA薬TDM採血オーダー（9/1から実施） 実施件数：74件（TDM採血オーダーの28.0%）
	臨床検査技師と業務分担をする	①造影剤腹部超音波検査における静脈確保・造影剤注入・抜針の一連の行為の継続。 ②経皮的肝焼灼術（RFA）・肝生検の介助対応 ③迅速細胞診の対応拡大 ④術中MEPモニタリングの針電極装着	①造影剤腹部超音波検査における一連の行為は検査課で実施しており安定稼働。32件 ②2025年度 RFA 3件、肝生検13件立ち会い。 ③常勤医師就任による体制強化157件 ④2025年度 MEP17件 全件装着実施。
	臨床工学技士と業務分担をする	告示研修を受講する臨床工学技士の推進と活用 鏡視下手術における体内に挿入されている内視鏡カメラの保持及び手術野に対する視野を確保するためのカメラ操作	業務基準・マニュアルを作成、特定行為・告示研修修了者業務管理委員会で報告しスコープオペレーター業務開始準備が整った。医師依頼時にスコープオペレーター業務実施。
	医師事務作業補助者と業務分担する	医師事務作業補助者が行える業務の拡大。 各管理料に対する必要なカルテ記載の代行入力など	①内科のポリペク入院のオーダーと文書作成の代行 ②管理料に対するカルテ記載の代行及び入力漏れの確認
	管理栄養士による業務分担する	患者からの嗜好の聞き取り、食事に関する代行入力を継続。 入院患者の栄養指導オーダーの代行入力（特に、患者希望時やスタッフが必要と考える患者に対するオーダー）	食事摂取量が少ない方への聞き取りと食事の代行入力を実施。 栄養指導は患者の希望時や病棟スタッフからの依頼がある場合等は栄養指導依頼の代行入力を実施。
	ITの利用	ITを活用した問診の継続（AI問診）	内科外来で初診患者に対しAI問診の継続
労働時間管理の適正化	時間外勤務時間の把握。 労働時間該当性の認識強化	所属長による時間外勤務時間の管理を強化。 所属長による面談実施を検討。 業務時間内のカンファレンスの実	2月に時間外労働が多い職員に対し、時間外労働にかかる本人及び所属長へのアラート機能の強化と、通知文の変更（強調）
複数主治医制の推進	各診療科において当番制の導入の推進	院内で検討。	継続して取組中
短時間雇用医師の活用	短時間雇用医師の雇用・活用	短時間勤務医師の雇用と活用の推進	現在5名の医師が短時間勤務利用ベースアップ評価料と同等の処遇改善
オンコール体制の構築	診療科ごとのオンコール医師を配置	オンコール体制の把握 できていない診療科への働きかけ	継続して取組中
当直体制の適正化	当直体制の充実	連続当直を行わない勤務体制の実施 夜間休日の看取り対応など、主治医業務代行	他病院からの応援を受け、連続での当直はなかった。夜間休日の看取り対応は当直医師が行っている。

2025年度 看護職処遇改善及び負担軽減計画

	目標	計画	評価
看護職員と他職種との業務分担	薬剤師と業務分担をする	GS1バーコードを用いた、医薬品チェックシステムの導入を検討。	導入出来ていません。
	臨床検査技師と業務分担をする	①病棟採血業務の継続と対象病棟の増加を検討 ②病棟再採血業務の充実 ③持続皮下グルコース検査（リプレ）の器機装着と脱着、管理体制の構築	①②は中断 中央採血室業務に注力 ③継続 新規は全て対応 13件
	臨床工学技士と業務分担をする	①医療器機の管理の継続 ②超音波ネブライザー、エアーマット、吸痰器、救急カートの消耗品、感染患者が利用するバイタルサイン測定のセットの管理の継続 ③新病院建築までに手術室業務可能者を増やす	①②は継続 新病院へ向け中央制貸出機器の更新・必要台数把握のため、中央制貸出機器全て患者登録を実施してもらうよう看護部へ協力依頼し運用変更した。 ③手術室への人員の配属 2025.4~1名配属し育成中
	医師事務作業補助者と業務分担する	①外来の診療の補助の拡大	緩和病棟再開による外来看護師不足を補うため診療補助業務の拡大。内科中心であったが、それ以外の科にも少しずつ拡大してきている。（5-6人/日）
	臨床心理士と業務分担する	①外来・入院患者のメンタル的サポート ②カウンセリング	約50人に介入
	MSWと業務分担	①入退院支援業務について家族への説明及び調整	継続中
	事務職員と業務分担	①コストなどのカルテの整合性確認（医事課） ②通訳者による外国人患者への対応（医事課）	全て継続して実施 ②外来診療、手術・分娩時等立会い
	歯科衛生士と業務分担する	①NPPV、挿管患者の口腔ケアの介入	NPPV22名、挿管患者29名に介入した。特に挿管患者は前年度5件から増加した。
	管理栄養士と業務分担する	①食事摂取不良患者への聞き取りや食事オーダーの代行入力を継続	食事摂取量が少ない方への聞き取りと食事の代行入力を実施。
	放射線技師と業務分担	①RI薬品・造影剤の穿刺ルートの確保、注入、抜針までの一連の行為・基準の作成の継続 ②大腸CT検査時のチューブ挿入 ガスの注入 抜去	①RI薬品・造影剤の穿刺ルートの確保、注入、抜針までの一連の行為マニュアル・基準を作成し、1/23に開催 継続中
	施設課職員と業務分担	①施設課職員による病室の消毒作業の継続	継続中
	入退院支援センター	①説明、支援指導における多職種協働の拡大	拡大には至っていないが、退院支援計画書の作成や関係機関との連携を継続して担っている。
看護補助者の確保	看護補助者の確保をする	①派遣の看護補助者の採用、教育の充実	11名の派遣看護補助者の採用
短時間正規雇用看護師の活用	短時間正規雇用看護師を有効に活用する	①週休3日制度の推進	15人が利用

2025年度 医療従事者処遇改善及び負担軽減計画

	目標	計画
院内保育園の活用	休日、夜間保育の活用推進	院内周知 保育園との連携
男性職員の育休取得	男性職員の育休取得の推進	制度に関することの院内周知 実績の広報

妊娠・子育て中、 介護中の看護師に 対する配慮	妊娠・子育て中、介 護中の看護師に対す る配慮	①復帰前のならし業務 ②さまざまな制度の認知度向上と利用者の拡大	①2人/年 ②2025年10月の法律改正にともない、 育児・介護休業の変更点を全職員に メールで周知、利用者の拡大に繋がっ た。(小学3年生までの子の看護休暇 の利用等)
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------------	--